

第1回「短期大学生調査」データ活用セミナーについて

令和4年6月21日
一般財団法人大学・短期大学基準協会

1. 趣旨

2020年に中央教育審議会大学分科会より提示された教学マネジメント指針には、「卒業認定・学位授与の方針」に定められた学修目標の達成状況を示す情報として、「学生の成長実感・満足度」や「卒業生からの評価」などが挙げられています。またこれらを把握する方法として、在学生や卒業生へのアンケート調査が例示されております。このような「エビデンスに基づく評価」の重要性は今後も高まっていくことが予想され、在学時から卒業後にかけて、学生の学びの成果を継続的に把握し、その結果を反映した教育を行うことが高等教育機関において求められています。

本協会では上記のような政策ニーズに応える一環として、平成30(2018)年度より「短期大学生調査」を、令和4(2022)年度より「短期大学卒業生調査」を調査事業として位置づけ、各短期大学における自己点検・評価や内部質保証サイクルに資するデータ収集ツールの提供を行っております。毎年度、調査実施後に参加校に対して行っているアンケートの中で、上記調査結果の活用状況等について尋ねていますが、調査データや集計結果の活用の仕方が分からないか、参加校によって活用の程度に差がありました。

そこで、上記二つの調査の調査内容や実施方法の設計に携わり、かつ学術研究発表を通して短期大学教育の教育成果測定研究に従事している3名の本協会調査研究委員会研究協力者を招いて、データの可視化など調査データの活用を促進するための方策や考え方について示し、今後の評価改善活動やIR活動の参考にしてもらうことを目的としたセミナーを開催いたします。

またセミナー後には、学生調査結果の活用や学内での共有方法といった事例紹介を中心に、所属大学における課題や対応方法など、質保証に取り組むにあたっての状況など、少人数グループでのフリートークセッションを企画しております。参加自由となっておりますので、ふるってご参加ください。

2. 開催日時

令和4年8月29日(月) 15時00分～16時30分
(終了後、意見交換を30分程度行います。)

3. 開催形態

オンライン開催 (Zoom ウェビナー利用)

4. 参加対象

会員短期大学の認証評価・教学IR等の業務に従事している教職員

5. 定員

450名

6. 参加費

無料

7. セミナープログラム

15時00分～15時10分	開会挨拶 清水 一彦 [調査研究委員会 委員長 (山梨大学)]
15時10分～16時10分	講演： 教育の質保証における「短期大学生調査」の活用可能性(案) 山崎 慎一 [調査研究委員会 研究協力者 (桜美林大学)] 堺 完 [調査研究委員会 研究協力者 (大分大学)]
16時10分～16時20分	質疑応答
16時20分～16時30分	閉会挨拶 山田 礼子 [調査研究委員会 副委員長 (同志社大学)]
16時30分～17時00分	参加者による意見交換会 (参加自由) 趣旨説明： 宮里 翔大 [調査研究委員会 研究協力者 (桜美林大学)] ※意見交換会は、数人のグループに分けて行う予定です。

※プログラムは事情により変更する場合がございます。

8. 参加申込方法

方法1：PCにてお申込みいただく際は、次の URL にアクセスの上、申込み手続きを行ってください。

https://jp.surveymonkey.com/r/jaca_seminar

方法2：スマートフォン等をご使用の場合は、以下の QR コードを読み取って、お申込みください。



9. 申込期限

令和4年7月22日(金)

以上